

建築基準法第12条第5項に基づく(工事監理・工事状況)報告書

－基礎工程－

中間検査1・完了検査

(報告先)  
横浜市建築主事

工事監理者が必要な物件  
は必ず工事監理者が報告  
を行ってください。

〇〇年〇〇月〇〇日

下記の建築物等は建築確認済みの状態で施工され、構造上安全であることを確認しましたので、次のとおり(工事監理・工事状況)報告結果を報告します。

報告者	<input checked="" type="checkbox"/> 工事監理者	住所	横浜市 〇〇区 〇〇町 123-1
	<input type="checkbox"/> 工事施工者	氏名	〇〇〇〇

建築確認済証番号	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇確認[更]建築 〇〇〇
建築主氏名	〇〇 〇〇
建築場所	横浜市 〇〇 区 〇〇 町 〇〇 丁目 123-2

報告前に軽微な変更届等の  
手続きをされている場合は  
チェックをいれてください。

建築確認に要した図書と照合した結果、変更が  ありません。  
 ありますので、必要な手続きをしました。

注) 構造の変更は、原則として変更確認申請が必要です。

確認事項	内容	照合方法(※1)	照合結果(※2)
1 敷地の安全性 (法19)	(1) がけ、擁壁の安全性	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 下水管、下水溝又はためます等の位置及び排出経路	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
2 敷地と道路の関係 (法42、43)	(1) 道路の位置、幅員及び種類	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 道路に接する敷地の長さ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 法42条2項道路の後退	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 法43条許可条件との照合	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
3 敷地形状、容積率、 建ぺい率 (法52～53の2)	(1) 敷地形状及び高低差	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 敷地境界の確認、建築物の位置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 建物形状	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 間取り、各室の用途及び床面積	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
	(5) 小屋裏物置等の大きさ及び開口	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
4 外壁後退 (法54)	(1) 建物配置(道路、隣地からの離れ)	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
5 道路斜線、天空率 (法56)	(1) 地盤面及び前面道路の路面の中心からの建築物の各部分の高さ	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
	(2) 道路からの外壁等の後退距離	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 建物配置(道路、隣地からの離れ)	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
6 高度地区 (法58)	(1) 方位	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 北側敷地境界からの建物の離れ	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 建築物の各部分の高さ	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
	(4) 建築物が周囲の地面と接する位置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
7 既存の建築物 (法86の7)	(1) 増築等に係る部分以外の部分について行う措置	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
8 確認表示板 (法89)	(1) 建築確認表示板の設置	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 設計図書等の備え付け	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
9 建築材料の品質 (法37)	(1) 日本工業規格又は日本農林規格に適合することを証明する事項	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 指定建築材料が国土交通大臣の認定を受けたものである場合は認定番号	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
10 地耐力 (令38)	(1) 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法( SWS試験 )	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 地耐力が得られなかった場合の措置 ※3 (設計変更:地盤改良含む)	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
11 基礎種別 (令38)	(1) 基礎種別の確認(布、べた、独立、くい)	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
12 部材の配置	(1) 基礎の配置の確認	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(2) 耐圧盤の配置の確認	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3) 大ばり、小ばり、フーチングの配置の確認	a・b・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>

※欄については、裏面の注意事項をお読みください。

確認事項	内容		照合方法(※1)	照合結果(※2)	
13 基礎の確認	(1)	各部材の形状、寸法の確認	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>	
		布基礎	①主筋、あばら筋等の径及び間隔	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			②ベース筋、あばら筋のかぶり厚さ	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	③偏心基礎のベース筋の定着方法		a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>	
	(3)	べた基礎	①耐力壁の径、間隔、主筋方向、長さ	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
			②杭基礎の場合はここに記載してください。	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
	(4)	独立基礎	①主筋の径、間隔、長さ	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
			②継手の位置、形状の確認	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
			③偏心基礎のベース筋の定着方法	a・b・c・d	<input type="checkbox"/>
	(5)	基礎地中ばり	①主筋、あばら筋、副筋の径、間隔本数及びかぶり厚さ	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			②継手の位置、形状の確認	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			③主筋の定着長さ	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			④中つり筋の位置	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			⑤ハンチ部分のあばら筋補強	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			⑥貫通孔の位置、補強方法	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
	(6)	柱脚部	①柱主筋の径、本数及びかぶり厚さ	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			②フーチングへののみこみ、定着	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			③帯筋の位置と補強筋	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>
			④鉄骨造のアンカー筋の設置状況	a・ <b>b</b> ・c・d	<input checked="" type="checkbox"/>

設計図書の内容について設計者に確認した事項等

なし。

検査対応者(代表者1名)の検査資格番号を記入。

検査会社名及び検査対応者名(代表者1名で可)を記入。

(  コンクリートの四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等が設計通り 検査者: (株)横浜〇〇建設 )

(  圧接・溶接部の内部欠陥・強度検査の結果が設計通り 資格: 〇〇〇〇〇 検査者: (株)横浜〇〇検査 横浜 太郎 )

《注意事項》

- (※1)欄 : 現場で実施した照合方法を、a:目視、b:簡易な計測機器(スケール等)、c:動作確認、d:その他の中から選択し、記号を○で囲んでください。「d:その他」は、a~cの照合方法をとれないため、試験結果成績書等により確認するものです。下記照合方法に具体的に記載してください。
- (※2)欄 : ・照合結果により適合している場合は、□内にレ点を記載ください。  
 ・後続工程で中間検査時、未施工部分については、空欄(未記入)としてください。  
 ・該当する項目がない場合は、照合結果欄全体に斜線を入れてください。  
 ・中間検査時にチェック済みの項目についても、完了検査時に再度チェックしてください。
- (※3)欄 : 地耐力が得られず、設計変更(地盤改良含む)の必要がある場合は、事前に計画変更確認申請が必要です。

その他の照合方法(※1)

項目番号	具体的な照合方法
9-(1)	ミルシート等により照合。
9-(2)	出荷証明書等により照合。

(例) 10-(2) 出荷証明書等により照合